

近所との結びつきを大切に



各務原市社会福祉協議会川島支部
支部長 加藤 博

富士山は喜びも悲しみも分かち合ってきた日本人の心のシンボルだと言われています。その富士山が世界文化遺産に登録されることが決まりました。世界にPRするとともに大事にしていきたいものです。

昔から向こう三軒両隣りといって、私たちは近所の人たちと強い絆をもち、互いに助け合って暮らしてきました。季節の作物が採れば隣へあげ、旅行に行けばお土産を、隣に困ったことができれば、何かお手伝いできるこ



とはあります。か、と声をかけてきました。子ども達にしてみてもしかり。大きな子も小さな子も一緒に空地で元気に遊んでいました。

しかし、近年、近所・地域の連帯が希薄化してきていると言われます。また世代間の対立などという言葉も歩き始めてきています。少子化、核家族化が進む中で一人高齢者や高齢者のみの世帯が多くなり、見守りが必要になってきています。見守りには近所の人たちの協力を欠かすことはできません。従って今一度近所・地域の結びつきを見直す必要があると思います。

川島支部では本年度各地区が開催する三世代ふれあい事業等を支援していきます。近所の人々とふれあい、また世代を超えたふれあいの中で新しい結びつきが、また再確認できると思います。受け継がれてきた日本の心を大切に、また後世に送られていくことを願っています。

平成25年度 各務原市社会福祉協議会 川島支部 事業計画

月	事業内容	月	事業内容
4月	・ボランティアハウス(小網・松倉・河田) ・市社協支部長・福祉推進員合同会議 [19日] ・地域子育て支援・交流 [節句27日] ・ボランティアハウス監査報告・請求	10月	・赤い羽根共同募金運動への協力 [1日~] ・ボランティアハウス(小網・松倉・河田) ・市民福祉講座 [5日] ・ふれあい運動会・芋煮会 [6日] ・生涯学習発表会 [19日] ・県社会福祉大会 [29日] ・支えあいサポーター塾
5月	・ボランティアハウス(小網・松倉・河田) ・市社協理事会及評議会 [27日] ・支部社協総会 [31日]	11月	・市社会福祉大会 [12日] ・支えあいサポーター塾 ・独居高齢者配食サービス [11日] ・ボランティアハウス(小網・松倉・河田)
6月	・ボランティアハウス(小網・松倉・河田) ・市民福祉講座 近隣ケアグループ研修会 [9日] ・市民健康の集い [9日] ・市社協支部長、自治会長会 [21日]	12月	・ボランティアハウス(小網・松倉・河田) ・福祉講座 ボランティアハウスの集い [9日] ・歳末助け合い事業 古希の集い [15日] ・年賀状送付 [20日]
7月	・ボランティアハウス(小網・松倉・河田)	H26年1月	・ボランティアハウス(小網・松倉・河田)
8月	・社協賛助会員の募集 [1日~] ・三世代ふれあい交流会(渡地区) [1日] ・親子ふれあい映画会 [2日] ・ボランティアハウス(小網・松倉・河田)	2月	・近隣ケアグループの登録 ・ボランティアハウス(小網・松倉・河田) ・市社協支部長・福祉推進員合同会議
9月	・福祉フェスティバル [8日] ・ボランティアハウス(小網・松倉・河田) ・支部だより発行 [15日] ・支えあいサポーター塾 [~12月] ・岐阜県ボランティアフェスティバル [28日]	3月	・市社協理事会及評議会 ・ボランティアハウス(小網・松倉・河田)

座談会に参加して

日本福祉大学講師
伊藤亜希子先生

川島支部の座談会は人数が少ないながらも一つひとつのグループが大変活発で、意見も多く出していただけました。川島支部は地域柄『水』や『川』にかかわることが良いところとして出されていきました。

一方で、地域で役割を担っている人の負担についても意見が出されていました。そのような中でも「みんなの手をつないでいかなあかん」という言葉を聞いたことが良かったです。各務原市だけでなく、日本全国で地域住民が活動をされる時、その「負担」について課題に上がります。時には、「犠牲」という言葉も聞かれます。

しかし今後はさらに、地域での活動、地域住民の力が必要になってくる時代になります。そのような中で、私たちが考えなければいけないことは、『いかに息の長い活動をするか』だと思います。「負担」や「犠牲」といった言葉は地域の活動に何のプラスにも働きません。本当にこの地域にとって必要なことは何か、その課題や課題解決の方法を皆で『共有』『必要性』を確認し合うことが、息の長い活動の支えになり、負担や犠牲をいうイメージを和らげることになると思います。

テーマ2の
主な意見

支部事業で期待すること

交通手段 (買い物・通院)

- 年をとり車に乗れないと生活 (買い物) に不便
- 車の運転ができなくなった時交通手段がないので、バスの本数を増やしてほしい。
- 移動買い物車が日にちを決めて来てほしい
- 病院への送迎サービスがあると良い

地域の活性化

- 公民館をもっと活用したらよい
- お年寄りが働ける場がほしい
- 年を重ね、若者が少なく将来がとても不安である。

社協のPR、地域のボランティア

- 社協の必要性をもっとアピールする
- ボランティアハウス(小網・松倉・河田)のなり手がいない
- 社協活動が知られていない
- 住民の皆さんにわかりやすい社協のPRの仕方 (絵で示したりする)

※ボランティアハウスとは・・・地域の高齢者や体の不自由な方、子育て中の方など、家に閉じこもりがちな方たちが気軽に集い、楽しく過ごせる場所と内容を自分たちでつくっていく活動です。



平成25年度 社会福祉協議会川島支部 予算書

【収入の部】

単位：円

科 目	25年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
支 部 交 付 金	350,000	340,000	10,000	
メニュー事業助成金	497,980	450,000	47,980	
近隣ケアグループ研修会(支部)	30,000	30,000	0	30,000円×1回
ボランティアハウス事業	189,980	144,000	45,980	108,000円×1 36,000円×2 備品等
福祉座談会	0	8,000	△8,000	
支部アンケート調査	5,000	5,000	0	50円×100人
機関紙の発行	91,000	88,000	3,000	28円×3,250部
配食サービス事業	12,000	10,000	2,000	200円×60人
料理で交流事業	5,000	5,000	0	200円×25人
福祉の人づくり育成事業	20,000	20,000	0	20,000円×1回
地域子育て支援・交流事業	30,000	30,000	0	20,000円×1回 10,000×1回
高齢者ふれあい交流事業	15,000	10,000	5,000	500円×30人
歳末たすけあい特別事業	100,000	100,000	0	100,000円×1回
支部運営費助成金	15,000	15,000	0	支部活動推進助成金
そ の 他 の 収 入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
寄 付 金	1,000	1,000	0	
雑 収 入	200	200	0	利息収入
前 年 度 繰 越 金	1,489,336	1,627,130	△137,794	
収 入 合 計	2,353,516	2,433,330	△79,814	

【支出の部】

単位：円

科 目	25年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
事 務 費	53,000	66,000	△13,000	
会議費	35,000	48,000	△13,000	総会×2回 役員会2回
賃借料	0	0	0	
通信運搬費	5,000	5,000	0	
消耗品費 等	13,000	13,000	0	インク代、文具、用紙
メニュー事業費	844,980	766,000	78,980	
近隣ケアグループ研修会	40,000	23,000	17,000	
ボランティアハウス事業	189,980	150,000	39,980	108,000円×1 36,000円×2 備品
福祉座談会	0	10,000	△10,000	
福祉アンケート調査	10,000	5,000	5,000	
機関紙の発行	200,000	165,000	35,000	支部だより発行8頁3,500部
配食サービス事業	60,000	60,000	0	一人暮らし高齢者対象
料理で交流事業	20,000	3,000	17,000	希望地区
福祉の人づくり育成事業	20,000	85,000	△65,000	
地域子育て支援・交流事業	115,000	100,000	15,000	節句の会 映画会
高齢者ふれあい交流事業	20,000	15,000	5,000	三世代交流会助成 1地域
歳末たすけあい特別事業	170,000	150,000	20,000	独居高齢者・在宅介護者対象
そ の 他 の 事 業 費	51,000	40,000	11,000	
啓発看板設置事業	0	0	0	
フェスティバル	46,000	35,000	11,000	生涯学習発表会、市福祉フェス他
年賀状送付事業	5,000	5,000	0	50円×100枚
助 成 金 支 出	220,000	140,000	80,000	
体育振興会助成金	30,000	40,000	△10,000	ふれあい運動会助成金
地域ボランティア団体助成金	90,000	60,000	30,000	ボランティアハウス3団体 他
地域事業助成金	100,000	40,000	60,000	三世代交流会助成 5地域
予 備 費	1,184,536	1,421,330	△236,794	
支 出 合 計	2,353,516	2,433,330	△79,814	

座談会で地域のつながりを考えてみよう

「やさえて ささえられて みんなが 主役のまちづくり」をスローガンに、住民の参加を経て市内で福祉活動を行っています。「皆で集い、ふれあう機会を作りたい」という声をもとに今後の事業や地域のつながりを深める機会として、市内各地区で座談会を行いました。

川島では9月28日(金)松南公民館で行われました。26名の参加があり、活発な意見がみられました。



テーマ1の
主な意見

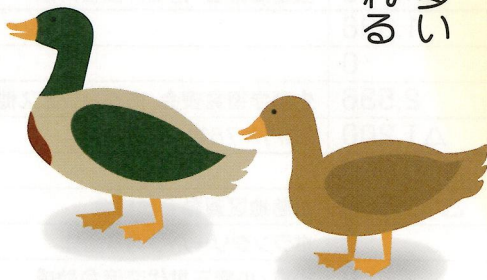
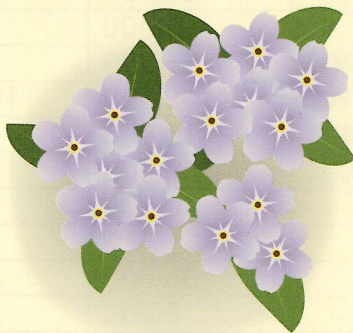
私の地域・支部の良いところ

自然に恵まれている

- 緑がたくさんあり、川もあるので癒しがある
- 自然に恵まれ、景色がよく空気がよい
- 水がおいしい

町民同士の付き合い・繋がり

- 近隣の集まりに多数出席して顔馴染みができている
- 小学校、中学校9年のつながり。素直な心を保てる子供が多い
- 家の前を通る子供たち(大人も)がきちんと挨拶をしてくれる
- 公共施設、生活の施設が近くにある
- 公共施設の充実(小さな子供達が遊びに行く場所が多い)
- 公園が整備されている
- 車さえあればスーパーも近くにあり買い物に便利



社協 川島支部 事業報告



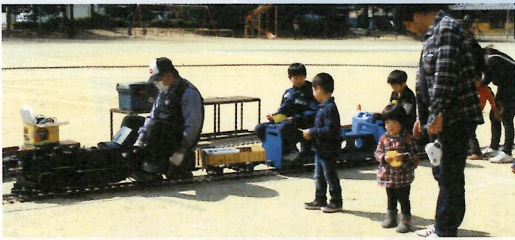
H25年6月19日 ■ 近隣ケア研修会
(松倉公民館にて)



H25年1月10日 ■ 三世代ふれあい広場
(松倉公民館にて)



H25年8月2日 ■ 親子映画会 (松南公民館にて)



H25年3月9日 ■ 生涯学習発表会での模型鉄道
乗車と甘酒の旗布 (川島ライフデザインセンター)



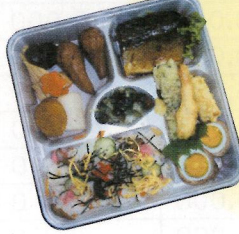
H24年12月9日 ■ 古希・介護者・一人暮らし高齢者の集い
(河田町公民館にて)



H24年11月12日 ■ 一人暮らし高齢者配食サービス



H24年11月11日 ■ ふれあい運動会 芋煮会
(川島小中グラウンドにて)



「お便り」
「配食サービス」
に対する感謝のお手紙を
いただきました。

平成24年度 社会福祉協議会 川島支部 収支決算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

【支出の部】

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事 務 費	66,000	46,244	△19,756	
会議費	48,000	27,560	△20,440	総会×2回
賃借料	0	0	0	
通信運搬費	5,000	0	△5,000	
消耗品費 等	13,000	18,684	5,684	インク代、のぼり・旗代
メニュー事業費	766,000	703,577	△62,423	
近隣ケアグループ研修会	23,000	12,584	△10,416	
ボランティアハウス事業	150,000	144,000	△6,000	72,000円×1ハウス 36,000円×2ハウス
福祉座談会	10,000	0	△10,000	
福祉アンケート調査	5,000	0	△5,000	
機関紙の発行	165,000	235,463	70,463	支部だより発行8頁3,500部
配食サービス事業	60,000	60,000	0	一人暮らし高齢者対象
料理で交流事業	3,000	0	△3,000	
福祉の人づくり育成事業	85,000	0	△85,000	
地域子育て支援・交流事業	100,000	106,230	6,230	節句の会 映画会 渡三世代交流
高齢者ふれあい交流事業	15,000	0	△15,000	
歳末たすけあい特別事業	150,000	145,300	△4,700	独居高齢者・在宅介護者対象
その他の事業費	40,000	41,336	1,336	
啓発看板設置事業	0	0	0	
フェスティバル	35,000	37,536	2,536	生涯学習発表会、市福祉フェス他
年賀状送付事業	5,000	3,800	△1,200	50円×76枚
助成金支出	140,000	130,000	△10,000	
体育振興会助成金	40,000	30,000	△10,000	川島地区運動会助成金
地域ボランティア団体助成金	60,000	60,000	0	ボランティアハウス3団体
地域事業助成金	40,000	40,000	0	松倉・小網三世代交流会助成
会助成金	0	0	0	
予 備 費	1,421,330	0	△1,421,330	
支 出 合 計	2,433,330	921,157	△1,512,173	

【収入の部】

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支 部 交 付 金	340,000	350,000	10,000	
メニュー事業助成金	450,000	403,714	△46,286	
近隣ケアグループ研修会(支部)	30,000	30,000	0	30,000円×1回
ボランティアハウス事業	144,000	144,000	0	72,000円×1ハウス 36,000円×2ハウス
福祉座談会	8,000	0	△8,000	
支部アンケート調査	5,000	1,200	△3,800	50円×24人
機関紙の発行	88,000	91,364	3,364	28円×3,253部
配食サービス事業	10,000	12,200	2,200	200円×61人
料理で交流事業	5,000	0	△5,000	
福祉の人づくり育成事業	20,000	0	△20,000	
地域子育て支援・交流事業	30,000	24,950	△5,050	20,000円×1回 4,950円×1回
高齢者ふれあい交流事業	10,000	0	△10,000	
歳末たすけあい特別事業	100,000	100,000	0	100,000円×1回
支部運営費助成金	15,000	15,000	0	支部活動推進助成金
その他の収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
寄 付 金	1,000	14,392	13,392	5団体からの収入
雑 収 入	200	257	57	利息収入
前 年 度 繰 越 金	1,627,130	1,627,130	0	23年度繰越金
収 入 合 計	2,433,330	2,410,493	△22,837	

